## かけはし

### 国民と自衛隊とのかけ橋は、仲間へのかけ橋から？

国民と自衛隊とのかけ橋は、隊友会の使命です。去る3月11日に8年目を迎えた東日本大震災の回想シーンでは、大津波、避難所、自衛隊の活動という一連のパターンが繰り返されました。それよりも、復興の現状に多くの時間や記事が費やされていることに気付かされます。平成30年の今、阪神淡路大震災のことを思い出すのは、多くの国民にとっては大変困難なことかも知れません。もしかしたら、熊本地震のことも難しいかもしれません。

災害派遣の活動という国民に一番身近な活動でも、記憶に残ったり意識されることは長くはないのです。繰り返し「自衛隊はね」と話しかけないといけない理由です。そのため、語り部たる隊友会員が現在約7万名では決して十分ではありません。ましてや、日常的に自衛隊の話題を口に出せるのは、防衛生産に関係する企業や警備業といった一部の企業に再就職できた場合だけであり、一般企業では予備自衛官の話は「仕事をさぼってアルバイトか」という誤解まで生じる現状です。普通は自衛隊のイベントやら様々な報道に触れた人から声をかけられたら幸運な方でしょう。

さて、そうなると発信する源である自覚ある元自衛官の増加が重要です。部隊のOB会には、それも伝統ある部隊のOB会には、隊友会員ではない多くの元自衛官が集まっています。OB会は、国民の理解獲得と言う様な「難しい問題」に関係なく部隊の支援活動に取り組んでいます。意識的ではないにせよ、国民の理解獲得に貢献していることは間違いないでしょう。そうした場で、少し意識して最新のことを発信してもらいたいところです。具体的には、隊友紙や隊友会発行の図書を読み防衛セミナーに参加して最新の知識を持ってもらうことが入り口です。

そのために、隊友会の各種会合に、OB会の会長それも隊友会員でない方を、招待するというところから、国民と自衛隊とのかけ橋が始まると思いますが、皆様如何でしょうか。

（中川義章（なかがわよしあき）・本部担当執行役）

# 都道府県 隊友会の活動

**岐阜県隊友会**

## 県との「災害時等における協力に関する協定」を締結

岐阜県隊友会（会長・赤谷信之）は3月26日、3年前から調整を重ねていた岐阜県との災害時等における協力協定の締結を実施した。岐阜県庁で行われた締結式では古田岐阜県知事と赤谷会長の間で協定書に署名。今回の協定のポイントは①災害時の協力として「災害発生時の県へ情報の提供」「大規模災害発生時の組織的支援活動」②平時の協力として「県実施の防災訓練への協力」が挙げられている。このため平時から顔の見える関係づくりを進めていく予定である。これまでに岐阜県隊友会は海津市・各務原市・瑞穂市・大野町・北方町・岐南町・垂井町との間で協力協定を締結している。引き続き市町村との締結に向け調整を実施する予定である。

（事務局長・曽我泰彦）

『災害時等における隊友会の協力に関する協定』

赤谷会長（右）と古田知事

**高知県隊友会**

## 総合防災訓練打合せ会に参加

高知県隊友会（会長・今村功）は2月22日及び3月22日、「平成30年度高知県総合防災訓練（5月27日に高知新港及び春野総合運動公園等で実施予定）」の打合せ会に、高知市・伊野各支部長及び会員が参加した。マグニチュード8～9級と想定され、30年以内の発生確率「70～80％」に引き上げられた南海トラフ地震に対し、隊友会は、「必ずやってくる南海トラフ地震に備えちょき」を合言葉に初参加の29年度に引き続き30年度も参加することとしている。（事務局長・今井崇裕）

防災訓練打合せ会の様子

**神奈川県隊友会**

## 県内統一の留守家族支援協定を締結

## 神奈川自衛隊音楽まつり２０１８を共催

神奈川県隊友会（会長・寺地重告）は2月23日、武山駐屯地において、県内の陸自4個駐屯地（座間、横浜、久里浜、武山）の各司令、地本長、自衛隊家族会長及び隊友会長が一同に会し「大規模災害時における派遣隊員の留守家族支援に関する協定」を締結した。本協定は、過去実施した「家族支援会同・訓練」の成果を取り込み、中央協定に準拠して作成された。

（副会長・寺田信夫）

神奈川県留守家族支援協定締結式

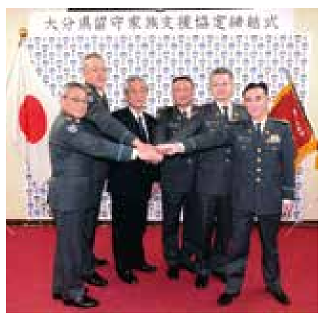
2月25日、隊友会、県防衛協会、自衛隊家族会、募集相談員会、自衛隊家族会共催による「神奈川自衛隊音楽まつり２０１８」が横須賀芸術劇場において開催され、１６００名の観衆を魅了した。第1部の入隊激励式典では、入隊・入校する４２８名の予定者とその家族を激励しお祝いした。（音楽まつり実行委員長・大西英男）

**大分県隊友会**

## 留守家族支援に関する協定締結

大分県隊友会（会長・豊島克治）は2月20日、大分県別府駐屯地において、大分地本及び湯布院・別府・玖珠・南別府の各駐屯地と大規模災害派遣隊員の留守家族支援について協定を結び、地本長及び各駐屯地司令の間で協定書に調印した。協定では、留守家族の安否確認・留守家族の生活支援（子供の世話、介護、買い出し）・留守家族の激励、相談、情報提供が主な支援項目となっている。南海トラフ大地震が30年以内に70％の確率で発生すると言われており、万一の場合災害派遣隊員が後顧の憂いなく任務遂行できるよう、隊員たちの留守家族を支援していく。

（副会長・権藤建）


大分県留守家族支援協定締結式

**長野県隊友会**

## 家族支援協定の締結

長野県隊友会（会長・牧幸生）は3月16日、松本駐屯地において家族支援に関する中央協定に基づき、「長野県における陸上自衛隊と自衛隊家族会・隊友会協定」を締結した。調印式では、陸自側の岩原松本駐屯地司令と星野地本長、支援側の西澤自衛隊家族会長と牧隊友会長が署名したのち各署名者が所信を述べた。牧会長は「この協定に基づき部隊に対する支援を一層強化していきたい」と決意を表明した。本協定はあくまでも派遣された部隊の隊員家族に対する支援であるが、部隊は募集の成果向上に、隊友会及び自衛隊家族会にとってはそれぞれの会勢拡大に繋がっていく絶好の機会と捉え大いに期待したい。

（事務局長・川上明彦）

長野県における陸上自衛隊と家族会・隊友会協定書調印式

右端が牧会長

**岡山県隊友会**

## 岡山自衛隊音楽まつり（入隊・入校予定者激励演奏会）を共催

岡山県隊友会（会長・福田一夫）は3月3日、岡山自衛隊音楽まつり（自衛隊入隊・入校予定者激励演奏会）を岡山市民会館で、防衛協会・自衛隊家族会等と共催した。当日は各団体の長の紹介・挨拶、立石地本長・国会議員の祝辞、防衛大臣・県知事のビデオレター上映、出席した自衛隊入隊・入校予定者１５１名の紹介と記念品の贈呈が行われた。引き続き、2部構成による演奏会を開催。先輩隊員の激励、岡山大学応援団総部によるエールもあり聴衆と一体となった演奏が実施された。演奏要員としての入隊予定者から花束贈呈も行われ、最後に行進曲と会場の手拍子により入隊・入校予定者とその家族を送り出して音楽まつりを終了した。

（事務局長・高畠保朗）

**徳島県隊友会**

## 自衛隊入隊・入校激励会を共催

## 殉職自衛隊員合同慰霊祭を主催

徳島県隊友会（会長・青木初年）は3月3日、防衛協会、自衛隊家族会と共催で「平成29年度徳島県自衛隊入隊・入校激励会」を催行した。激励会は、入隊・入校予定の90数名が出席し、国会議員、県下各高校長、14旅団長等を来賓に実施された。来賓祝辞、防衛大臣メッセージ紹介の他、先輩隊員の激励の言葉等の後、防大入校予定の女子学生が力強い代表者謝辞を行った。（会長）

3月18日、徳島県護国神社において、「平成29年度徳島県出身殉職自衛隊員合同慰霊祭」を主催した。本神社には昭和51年以来の殉職隊員24柱の御霊が合祀されており、慰霊祭にはご遺族12名、防衛協力団体の長、県遺族会長等のご来賓、会長以下隊友会員等約80名が参列した。慰霊祭は、儀仗、祝詞奏上、青木会長等の追悼の辞、参列者全員の玉串奉奠と続き儀仗で終了した。

（事務局長・岡田強）

**富山県隊友会**

## 自衛隊入隊・入校激励式で激励

富山県隊友会（会長・埜崎吉夫）は3月4日、富山市の富山国際会議場において、富山地本により開催された「富山県自衛隊入隊・入校激励式」に参加した。石井県知事、県内各首長、国会議員、近傍の陸海空自衛隊部隊長、協力団体等の来賓並びにご家族を併せて約３００名が出席し、入隊・入校予定者の門出を祝った。激励式では、県知事の祝辞、入隊・入校予定者の抱負等が行われ、最後に締めくくりとして埜崎隊友会長が入隊・入校予定者に「今日あることへの感謝と我が国・自衛隊、そして君たち自身が大いに自信を持って日夜努力されんことを期待して」と激励の言葉を添え、万歳三唱を声高らかに発声し、出席者全員が唱和した。

（事務局長・竹腰龍二）

富山県自衛隊入隊・入校激励式

声高らかに万歳三唱の音頭を執る埜崎会長

## 隊友会本部の活動（3月）

**6日**　陸幕家族支援班と家族支援施策に関する意見交換会を実施

**15日**　本部会（1、8日常務会）

＜議題＞①定例理事会における議案②再就職支援事業の充実・拡大に伴う定款変更

＜報告＞①防災ボランティア活動のアンケート結果②県隊友会メールドメイン統一及びウィルスチェック③㈱アルマダからの寄付金受領に伴う処置④平成30年度定時総会時の式典の実施要領⑤平成30年度全国執行役会及び募集協力者会同開催日の変更　など

**16日**　3月定期便を県隊友会に発送

「平成30年度以降における指定管理者事業の実施について」、「隊友会メールアドレスのドメイン名の統一等について」等を発送。

**20日**　洗心懇談会に参加（担当：中央乃木会）

**22日**　第2回定例理事会

＜議案＞第1号議案「平成30年度事業計画（案）」、第2号議案「平成30年度収支予算（案）」、第3号議案「平成30年度定時総会招集（案）」、第4号議案「執行役の交代承認（案）」、第5号議案「県隊友会長の交代承認（案）」

**【隊友紙の発送予定日】**

5月号は11日（金）、6月号は13日（水）に発送予定。

**香川県隊友会**

## 四国ブロック協議会開催を担当

香川県隊友会（会長・林政夫）は2月16日、善通寺駐屯地において、今村四国担当執行役主催の第36回四国ブロック協議会開催を担当した。協議会は、自衛隊と4県隊友会の相互理解と緊密な連携を図ることを目的とし、各県の会長及び事務局長が参加、来賓として第14旅団長他部隊長等が出席した。隊友会は他県に参考となる施策等を紹介し、部隊は災害派遣時の進出経路情報の提供、家族支援等を依頼した。会議後、旅団を研修し普通科連隊が、火力・機動力・防護力が飛躍的に向上した普・特・機職種からなる即応機動連隊に大きく様変わりすることを実感した。最後に、本行事に参加・支援いただいた第14旅団の皆様に心から感謝申し上げます。（事務局長・直江惠）

**静岡県隊友会**

## 就職援護教育で隊友会を紹介

静岡県隊友会（会長・前田宏）は3月1日、若年会員の入会を促進するため富士駐屯地において実施された任期制隊員に対する援護教育の機会を利用させていただき、退職予定の隊員26名に対して隊友会の紹介・入会勧誘を行った。駐屯地を訪問したのは加藤副会長、明和事務局長、中田御殿場支部長、神野御殿場支部顧問の4名である。

隊友会の活動を知らない隊員も多かったが、説明を聞いて入会を検討したいという隊員も数名おり、今後も隊友会の若返りを図るため各種援護教育などに積極的に参加して若年会員の獲得に努めたい。また、29年度10回実施された予備自衛官招集訓練でも隊友会の紹介・入会勧誘を加藤副会長以下の役員で実施しており、今年度も継続して実施していく。

（事務局長・明和秀三）

**愛媛県隊友会**

## 防衛講演会を開催

## 県自衛隊入隊・入校者激励会を共催

愛媛県隊友会（会長・瀬川紘一郎）は3月4日、60名が参加し「平成29年度防衛講演会」を開催した。講師に愛媛地本長・茅野剛也1陸佐をお招きし、「周辺情勢概観」と題する御講話を賜った。時宜にかなった内容で予定の時間が瞬く間に過ぎ去った。一方、南海トラフ大震災の心配を抱える我々にとって、東日本大震災等での救援経験のある講師の経歴に興味を持ち、再度お話を拝聴する機会を持ちたいと思った次第である。

8日、県防衛協会及び県自衛隊家族会と「平成29年度愛媛県自衛隊入隊・入校激励会」を共催した。約１００名の入隊・入校者は1人ずつ抱負を述べ、来場者に紹介された。最後に瀬川会長の音頭による万歳三唱により激励会は厳かに終了した。

（事務局・白形洋）

## 執行役の交代

3月22日の定例理事会において、次の執行役及び県隊友会長の交代が承認された。

| | 新 | 前 |
|---|---|---|
| 常務執行役 | 太田 牧哉（元陸自）（30年3月22日付） | 谷口 厚志（30年6月19日付） |
| 地域担当執行役（東海北陸） | 沖見 光洋（元陸自） | 石川 政俊（30年4月1日付） |

## 県隊友会長の交代

| | 新 | 前 |
|---|---|---|
| 福島 | 小野寺 哲也（元陸自） | 大野 靖直（29年7月23日付） |
| 千歳 | 菊池（きくち） 伯（つかさ）（元陸自） | 青木 稔（30年3月24日付） |
| 埼玉 | 浦山（うらやま） 長人（おさひと）（元空自） | 佐藤 常寛（30年4月1日付） |
| 石川 | 浅加 正文（元陸自） | 西川 清（30年4月1日付） |
| 兵庫 | 小川 祥一（元陸自） | 熊谷 勉（30年4月1日付） |
| 旭川 | 四月朔日（わたぬき） 徹（とおる）（元陸自） | 椛村（かばむら） 天臣（たかおみ）（30年4月9日付） |
| 秋田 | 高橋 良一（元陸自） | 伊藤（いとう） 粂男（くめお）（30年5月13日付） |

**奈良県隊友会**

## 陸軍記念日に陸軍墓地清掃と慰霊祭斎行

奈良県隊友会（会長・大坪好徳）は雨天続きの3月10日の陸軍記念日に、有志13名で奈良県至誠会（岡井稲郎会長）が実施する旧陸軍墓地清掃奉仕活動に呼応してこれに参加した。ご英霊が休まれる環境を整えた後、知事代理、地本副本部長その他遺族会等々のご来賓出席の下、墓地慰霊祭を執り行った。隊友会有志一同は、大坪会長の玉串奉奠に合せ拝礼感謝の誠を捧げた。この陸軍墓地には、かの激戦地グアム島で連隊長以下玉砕した奈良歩兵38連隊合祀慰霊碑があり、岡井至誠会長の「今後も皆さんと共に守って行きたい」のご挨拶に一同深く感銘を受けた。また、グアムでジャングル生活をされていた、故横井庄一元軍曹もこの連隊であった。

（副会長・榎本大門）

**島根県隊友会**

## 「竹島の日」記念式典に参加

## 県役員・事務局等会議を開催

島根県隊友会（会長・持田佳郎）は2月22日、島根県民会館において開催された第13回「竹島の日」記念式典に参加した。式典では竹島での施設建設や軍事訓練が行われている現状に強く抗議し、あらゆる方策を施して返還が実現できるように強く要望された。北方領土返還交渉の陰で竹島が置き去りにされないように切に願うところである。

24日、出雲市内の出雲会館において、県役員・事務局等会議を開催した。「我々は目に見える活動なかんずく行事が重要」との会長挨拶の後、総会、事業報告等各種案件について審議。続いて生命保険セミナーを聴講し、その後出雲駐屯地司令による講演を拝聴した。（事務局次長・築森寛喜）

**滋賀県隊友会**

## 自衛隊入隊・入校者激励会に協賛

滋賀県隊友会（会長・奥村素男）は3月10日、草津市クレアホールにおいて、滋賀防衛連絡協議会主催の「平成30年度自衛隊入隊・入校者激励会」に協賛し、記念品を贈呈した。

激励会には、県知事をはじめ国会議員、県会議員、市議会議員、市長、地本長、各部隊長が臨席し、隊友会各支部長は多数の来賓とともに前途を祝福した。激励会終了後、ロビーでも顔見知りの入隊・入校予定者のご家族や広報官と談笑し入隊・入校者の門出を祝った。

（広報理事・小野功）

**群馬県隊友会**

## 女性部、現職隊員との懇談会開催

群馬県隊友会女性部（部長・小野清恵）は3月21日、現職女性自衛官との懇談会を開催した。懇談会には、相馬原駐屯地各部隊代表（旅団司令部浅野1曹等5人）と女性部5人が参加。現職女性自衛官との懇談会は、平成27年12月に続いて2回目であり、高崎市内のレストランを会場に今回もなごやかな雰囲気の中で行われた。現職隊員からは日頃の様子や勤務に関する思いなど、くつろいだ雰囲気の中で聞かせていただくことができ、時間を忘れての大変有意義な交流の場となった。このような懇談会が将来、会勢拡大につながることを願っています。

（女性部長）

## 謹んでご冥福を祈ります

### 正会員訃報

平成30年3月から4月までにご連絡いただいたご逝去者。（敬称略）

▽札幌、林清一（88）・清野廣一（84）・齋藤忠吉（83）・大阪秀雄（89）・石灘満雄（78）▽函館、佐藤良洋（70）▽旭川、馬場宏吉（89）・諸田一男（86）・杉山政雄（84）・乗田幸夫（71）・山岡誠也（80）・村田六輔（81）▽青森、高杉靖子（82）・小西和征（72）・野呂洋（62）・祐川重男（92）・田尻竹生（58）▽岩手、八重樫範収（85）・佐々木進（86）・村井栄吉（86）・小松恭逸（84）・齊藤功（73）・三田村和夫（80）▽宮城、吉田勝也（84）・鹿野久治郎（83）・熊谷照雄（85）・阿部安之（84）・佐藤宏治（82）・菅野義忠（68）・櫻井司（55）▽秋田、三浦恒夫（84）・木村巧（61）▽群馬、須藤成（90）▽東京、松田純清（77）・藤牧保雄（92）・武田幸夫（85）・三嶋滋（88）・吉田丈夫（59）▽長野、清水立男（68）▽静岡、柴田昭（87）・後藤信吾（55）・梅田義信（99）・野村茂（94）・菅沼博（88）・森本豊（88）・千葉愛夫（72）・大松八郎（82）・佐々木勲（78）・墨田延生（不明）・吉澤孝平（87）・渡邊好貞（72）・中田正良（81）・久保健一（77）・青島敏郎（87）・平井和（83）・杉田秀雄（77）▽愛知、佐藤三郎（81）・稲垣文宗（84）▽徳島、滝下渡（86）・森長岩根（76）▽香川、平尾征雄（79）・北岡豊太郎（84）・渡辺麻男（74）▽大分、中島武夫（80）・神崎武夫（94）▽宮崎、二日市一雄（89）・角内政弘（81）・吉留隼人（85）・久木元洋一（69）・山内久夫（86）・松本靖春（75）▽鹿児島、遠山政弘（87）・西尾利春（77）・上村雄三（59）